



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2020年
6月29日
発行

第40回 「アベノミクス再起動」 (前編)

～ 日本初のCEO型リーダー ～

初めに

「アベノミクス」は第2次安倍政権の経済政策です。開始直後は脚光を浴びましたが、今では名前を聞くことも少なくなりました。おそらく、「金融緩和は効果があったがそれだけ」というのが一般的なアベノミクスの評価だと思います。しかし、私はそうは思いません。見るべき点が多く、安倍政権がアベノミクスを再開するのは無理でしょうが、後継政権もこれを踏襲してほしいと考えています。今回と次回の2回に分けてアベノミクスのどこが優れているかについてお話しします。優れている点は3つあります。①日本初のCEO型リーダー、②全員参加の経済政策、③長期的な課題への対応の3つです。以下順に説明いたします。

CEO型リーダー

海外では、アベノミクスが始まる以前から、CEO型リーダーなどと呼ばれる国のトップが現れ始めていました。ドイツのメルケル首相、韓国の李明博（イ・ミョンバク）大統領などがそうです。こうしたリーダーは外遊の際大勢の自国の財界人を同行し、訪問先で取引をまとめました。いわば国のトップがセールスの役割を果たしている訳です。トップセールスは特に金額が大きく、公共性が有る案件で効果を発揮します。例えば、原発や鉄道などがそうですが、安倍氏は日立の英国向け鉄道車両の案件などで実績を挙げています。これまで日本にこうしたトップはいなかったため、安倍氏は日本初のCEO型リーダーと言えるでしょう。

官民一体での経済成長の追及

CEO型リーダーのもう1つのメリットは、リーダーと財界人の意思疎通が容易になり、官民連携した経済政策の策定が可能になることです。財界人が要望をリーダーに伝え、政府が素早く対応することができれば、日本経済や、企業の競争力は一段と高まるでしょう。そうした可能性が有ることも、CEO型リーダーのメリットです。

全員参加型の経済政策

アベノミクスの特徴の1つは、全員参加型という点にあります。例えば、成長戦略は様々な産業に数値目標を設定していますが、農業に対しても農産物輸出1兆円という目標が設定されています。一時は達成可能に見えましたが届かなかったようです。残念ですが農業のように一見、見過ごされそうな分野にも、課題を与えて全員参加を促す点もアベノミクスの特徴の一つです。

アベノミクスの成功例：観光立国

観光立国はアベノミクスの最大の成功例です。かつ、アベノミクスのエッセンスが詰まったものでもあります。観光立国が始まった当初、安倍氏は外遊や海外要人の訪日の際に和食や日本酒を売り込みました。訪日したオバマ米大統領に地元山口の日本酒「獺祭」をプレゼントしたこともあります。まさにトップセールスです。

(次号に続く)

西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES CO., LTD.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したものではありません。あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。